

教科書の調査研究報告書

安芸高田市・山県教科用図書採択地区合同調査委員会

校種	教科	教科用図書目録に搭載された教科書総数	本報告書の総ページ数
中学校	社会（歴史的分野）	8	6

調査研究の観点及び各教科書の特徴

観点	基礎・基本の定着	主体的に学習に取り組む工夫	内容の構成・配列・分量	内容の表現・表記	言語活動の充実
発行者	①学習課題の示し方 ②我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫 ③国際社会で主体的に生きていくための基盤となる知識・技能を身に付けさせるための工夫	④興味・関心を高めるための工夫 ⑤課題の設定、整理・分析、振り返りを展開するための構成上の工夫 ⑥作業的・体験的な学習を実施するための工夫	⑦単元や資料等の配列・分量 ⑧発展的な学習に関する内容の記載状況	⑨学習内容との適切な関連付けがなされたイラスト・写真等の活用（「近世」で比較） ⑩本文以外の記述の工夫（「現代」で比較）	⑪多面的・多角的に考察させるための工夫（「中世」で比較） ⑫目的に応じて適切に表現する力を育てるための工夫
2 東書	①見開きごとに、タイトルの横に「どのような」「どのように」の問いかけの形で各1時間に追究する学習課題を示す。 ②表紙や裏表紙に国宝・重要文化財・史跡などを紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が5点ある。2ページの読み物資料に5つの事例を取り上げ、民俗芸	④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図を用いたり、前ページから政治・経済・社会文化・東アジアやヨーロッパとの関連を含めた年表をつなげて、既習の時代とのつながりを分かりやすくしたりしている。加えて、見開き2ページで各時代区分における登場順に、人物や出来事の絵図・写真を並べ	⑦総ページ 299「歴史のとらえ方」14（5%）、「古代」44（15%）、「中世」34（11%）、「近世」44（15%）、「近代」98（33%）、「現代」37（12%）、「その他」28（9%）7章構成。 ⑧各大項目に、「深めよう」というコーナーを設け、本文の学習と関連のある読み物として扱って	⑨写真・絵図 128点、地図 18点、図表グラフ 23点、年表 3点、合計 172点 ⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「女の子が首から下げているのは何だろう。」	⑪時代の特色を前時代と比べて「政治の動き」、「社会の動き」、「外国との関係」、「文化の特色」、等の項目ごとに「比較表」でまとめよう。 ⑫章末などでイラストマップや年表など 11 種の方法でまとめさせる活動がある。

	<p>能や「神楽」との関わりを示している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 21 点あり，古代 1 点，中世 2 点，近世 3 点，近代 8 点，現代 7 点の内訳である。コラム「歴史にアクセス」という名称で，近現代での内容に厚みがある。</p>	<p>たりして学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「第 1 章 歴史のながれをとらえよう」において，調べ学習のポイントを「テーマを決めるポイント」「考察するポイント」「まとめと発表のポイント」「見直すポイント」と 5 つの手順で示している。</p> <p>⑥「時代や年代を読み取ろう」「歴史地図をみてみよう」など 17 事例を掲載している。</p>	<p>いる。（「現代に受け継がれる神話」等，事例数 13)</p>		
<p>17 教出</p>	<p>①見開きごとに，タイトルの横に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で学習課題を示す。</p> <p>②裏表紙に遺跡・史跡・出来事などを紹介し，資料の「国宝」などにマークをつけて示している。神話・伝承に関する事例が 3 点ある。神話から古代の人々の信仰について考えさせようとしている。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 22 点あり，古代 1 点，中世 1 点，近世 6 点，近代 8 点，現代 6 点の内訳であ</p>	<p>④大項目の導入において，時代を象徴的に表す写真や絵図，年代，日本の時代名，中国・朝鮮の王朝名を示した年表を用い，キャラクターの間答を通して，学習内容のあらましを説明することで学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「郷土の歴史を探ろう」というテーマで大単元ごとに 1 つずつ，調べ学習の手順を 5 つに分けて示している。</p> <p>⑥「干支や単位・資料を活用しよう」「郷土の歴史</p>	<p>⑦総ページ 291「歴史のとらえ方」9（3%），「古代」38（13%），「中世」34（12%），「近世」44（15%），「近代」104（36%），「現代」32（11%），「その他」30（10%）8 章構成。</p> <p>⑧各大項目に，「（資料・人物と地域・地域・世界）から歴史を探ろう」というコーナーを設け，本文の学習と関連のあるテーマを読み物として扱っている。（「木簡が語る人々の暮らし」等，</p>	<p>⑨写真・絵図 112 点，地図 13 点，図表グラフ 20 点，年表 3 点，合計 148 点</p> <p>⑩毎時間，導入の資料に対しての疑問を吹き出しで示している。「戦争が終わり，人々はどのような思いで戦後の生活を送っていたのだろうか？」</p>	<p>⑪中世の特色について，「政治では」「外国との関係では」「文化では」といった項目ごとに分けてキーワードを使って表に整理して考えるような課題例を設定している。</p> <p>⑫章末などで，キャッチフレーズや仮想の討論会など 7 種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

	る。コラム「歴史の窓」という名称で、近世に少し厚みをもたせている。	を探ろう」など、9事例を掲載している。	事例数 20)		
35 清水	<p>①見開きごとに、タイトルの横に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。</p> <p>②表紙や裏表紙に出来事・史跡などを紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が3点ある。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが24点あり、古代8点、中世2点、近世7点、近代7点、現代0点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において、写真や絵図、年表を用いてどのあたりの時代の、どのような人物や出来事について学習をするのかを示し、興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「第3章 近世の日本と世界」において、フィールドワークや博物館・資料館見学のポイントなど、身近な地域の歴史についてさらに深く調べていく方法を6点示している。</p> <p>⑥「資料を読み取ろう」「人物を調べてみよう」など、6事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ307「歴史のとらえ方」9(3%)、「古代」52(17%)、「中世」32(11%)、「近世」56(18%)、「近代」102(33%)、「現代」28(9%)、「その他」28(9%)6章構成。</p> <p>⑧各大項目に、「もっと知りたい歴史」「歴史のとびら」というコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマを扱っている。(「植物と日本人」等、事例数14)</p>	<p>⑨写真・絵図146点、地図18点、図表グラフ22点、年表3点、合計189点</p> <p>⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「戦争が終わり、人々はどのような思いで戦後の生活を送っていたのだろうか？」</p>	<p>⑪中世の日本文化の特色について写真を参考にして【武士 公家 禅宗】という語句を用いて説明させる課題を設定している。</p> <p>⑫章末などで、パワーポイントやレポートなど9種の方法でまとめさせる活動がある。</p>
46 帝国	<p>①見開きごとに、タイトル横に、「どのように」「どのような」という問いかけの形で学習課題を示す。</p> <p>②1ページの上半分に、資料の「国宝」などにマークをつけて示している。神話・伝承に関する事例が3点あり、他地域との</p>	<p>④大項目の導入において、2ページわたる、時代のようにすを大観させる着目ポイントを示したイラストや、写真・絵図入りの年表を用いて学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「第1部第2章 歴史に調べ方 まとめ・発表の仕方」において、「地域</p>	<p>⑦総ページ285「歴史のとらえ方」11(4%)、「古代」38(13%)、「中世」36(13%)、「近世」52(18%)、「近代」98(34%)、「現代」28(10%)、「その他」22(8%)7部構成。</p> <p>⑧各大項目の、「歴史を探</p>	<p>⑨写真・絵図168点、地図23点、図表グラフ23点、年表5点、合計219点</p> <p>⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「連合軍の占領によって、日本はどのように変化したのかな。」</p>	<p>⑪一定の文章にあてはまるような語句や文を考えさせ、中世の特色を説明させる課題を設定している。【中世は()の時代である。それは()だからである。】</p> <p>⑫章末などで、手紙や関係</p>

	<p>共通する考え方を紹介している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関する小コラムが 52 点あり，古代 7 点，中世 4 点，近世 7 点，近代 23 点，現代 11 点の内訳である。「自然環境」「人権」「交流」「平和」「地域史」「人物コラム」等に分けられている。</p>	<p>の歴史を探そう」から「地域をふりかえろう」等での調べ学習のポイントを 8 点示している。</p> <p>⑥「身近な地域にひそむ歴史を探ろう」「情報の集め方」など，12 事例を掲載している。</p>	<p>ろう」や 2 か所に設定した「トライアル歴史」というコーナーで，本文の学習と関連のあるテーマを読み物として扱っている。（「古墳からわかる当時のようす」等，事例数 13）</p>		<p>図・流れ図など 14 種の方法でまとめさせる活動がある。</p>
<p>116 日文</p>	<p>①見開きごとに，タイトル横に「どのような」「どのように」の問いかけの形で各 1 時間に追究する学習課題を示す。</p> <p>②表紙や裏表紙に出来事（関係地）・史跡などを紹介し，資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が 1 点ある。古代の人々の信仰や考え方が他地域とも共通していることを紹介している。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが 28 点あり，古代 4 点，中世 2 点，近世 4 点，近代 12 点，現代 6 点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において，時代を象徴的に表す写真や絵図，年表，イラスト入りの地図を用いてめあてを示して，学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤各大単元において，「でかけよう！地域調べ」というコーナーを設け，「歴史博物館で調べる」「調べたことを新聞形式でまとめ，学校のホームページにのせるなど，広く発表する」などのポイントを 4 点示している。</p> <p>⑥「系図の見方」「草戸千軒町遺跡を調べる」など，7 事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ 309「歴史のとらえ方」8（3%），「古代」44（14%），「中世」38（12%），「近世」50（16%），「近代」98（32%），「現代」36（12%），「その他」35（11%）6 編構成。</p> <p>⑧各大項目に，「先人に学ぶ」「歴史を掘り下げる」というコーナーを設け，本文の学習と関連のあるテーマを読み物として扱っている。（「日本の食生活のルーツを探る」等，事例数 18）</p>	<p>⑨写真・絵図 144 点，地図 26 点，図表グラフ 31 点，年表 6 点，合計 207 点</p> <p>⑩毎時間，導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「国連憲章には国連の目指すものは何と記されているのかな。」</p>	<p>⑪中世に定められた主な「法」に着目し，「制定された主な法」，「法の内容」，「目的」といった項目ごとに分け，古代と比較しながら考える課題例を設定している。</p> <p>⑫章末などで，表や歴史新聞など 5 種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

<p>225 自由社</p>	<p>①見開きごとに、タイトル下に「なぜ」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。 ②表紙や裏表紙に伝統的工芸品を紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が7点ある。 ③国際関係や文化交流に関するコラムが38点あり、古代6点、中世2点、近世5点、近代20点、現代5点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図を用い、キャラクターの問いを交えて学習への興味・関心を高めている。⑤「序章 歴史のとらえ方」の「地域の歴史を調べる」において、「疑問を出し合おう」「現地に行ってみよう」など調べ学習のポイントを4点示している。 ⑥「〇〇の歴史を調べる」「人物を通して時代をとらえる」など、3事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ296「歴史のとらえ方」18(6%)、「古代」56(19%)、「中世」28(9%)、「近世」44(15%)、「近代」98(34%)、「現代」28(9%)、「その他」24(8%)6章構成。 ⑧各大項目に、「もっと知りたい」というコラムを設けている。(「岩宿遺跡を発見した相沢忠洋」等、事例数35)</p>	<p>⑨写真・絵図83点、地図12点、図表グラフ9点、年表1点、合計105点 ⑩毎時間、学習課題を示している。</p>	<p>⑪「中世をひとことでまとめ、それについて説明させる「ひとこと作文」という課題を設定している。【例：武士 戦乱 下剋上など】 ⑫章末などで、「ひとこと」作文やスピーチなど12種の方法でまとめさせる活動がある。</p>
<p>227 育鵬社</p>	<p>①見開きごとに、タイトル下に「どのような」「どのように」という問いかけの形で各1時間の学習課題を示す。 ②表紙や裏表紙に史跡などを紹介し、資料の「国宝」などにマークがついている。神話・伝承に関する事例が3点ある。 ③国際関係や文化交流に関するコラムが34点あり、古代5点、中世2点、近世6点、近代17点、現代4点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図、年表を用い、キャラクターの問いを交えたり、「歴史絵巻」で、時代順に人物や出来事のイラストを並べたりして学習への興味・関心を高めている。 ⑤「課題学習」のコーナーにおいて、「調査に出かけてみよう」「調べたことをまとめてみよう」など、調べ学習の例を3点示している。</p>	<p>⑦総ページ303「歴史のとらえ方」7(2%)、「古代」52(17%)、「中世」32(11%)、「近世」54(18%)、「近代」98(32%)、「現代」30(10%)、「その他」30(10%)6章構成。 ⑧各大項目に、「このころ世界は」「歴史ズームイン」等のコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマを扱っている。(「ローマ帝国と日</p>	<p>⑨写真・絵図142点、地図17点、図表グラフ23点、年表3点、合計185点 ⑩毎時間、導入の資料に対しての疑問を吹き出して示している。「この写真を見て当時の人々はどう思ったんだろう。」</p>	<p>⑪学習のまとめを手がかりに、時代の特色をノートにまとめ、話し合う課題を設定している。 ⑫章末などで、歴史人物Q&Aカード作りや、ロールプレイなど6種の方法でまとめさせる活動がある。</p>

	る。	⑥「歴史人物Q&Aカードをつくろう」「城を探検してみよう」など、7事例を掲載している。	本の古墳時代」等、事例数26)		
229 学び舎	<p>①見開きごとに学習課題を示してはいないが、章ごとに「どのような」「どのように」という形で示している。</p> <p>②表紙や裏表紙に史跡などを紹介している。神話・伝承に関する事例が2点ある。</p> <p>③国際関係や文化交流に関するコラムが44点あり、古代5点、中世6点、近世6点、近代16点、現代11点の内訳である。</p>	<p>④大項目の導入において、時代を象徴的に表す写真や絵図を用いたり、それぞれの事象に関連する地図を示したりして学習への興味・関心を高めている。</p> <p>⑤「歴史への案内」のコーナーにおいて、「学芸員、説明員に積極的に質問してみましょう」「写真は許可をえてから撮るようにしましょう」など地域の博物館での調べ学習のポイントを4点示している。</p> <p>⑥「歴史を楽しく学ぼう」「一人ひとりの歴史・家族の歴史」など、10事例を掲載している。</p>	<p>⑦総ページ330「歴史のとらえ方」6(2%)、「古代」46(14%)、「中世」32(10%)、「近世」56(17%)、「近代」112(34%)、「現代」38(11%)、「その他」40(12%)6部構成。</p> <p>⑧各大項目に、「歴史を体験する」というコーナーを設け、本文の学習と関連のあるテーマでの体験学習を紹介している。また、歴史的事象との出会いの場面として巻頭の「歴史への案内」というコーナーを設定している。（「火と人類の歴史をさぐる」等、事例数6)</p>	<p>⑨写真・絵図163点、地図21点、図表グラフ13点、年表1点、合計198点</p> <p>⑩各章のはじめに楽手素課題を示している。「世界大戦終結から70年、かつてない豊かな社会が現れました。国境を越えて、人・情報・商品・金が動いています。そこには光と影があり、大きな課題もあります。全地球の動きに、地域の動きに目を向けます。あなた自身も生きてきた、現在につながる現代の課題を考えましょう。あなたはどんな未来を切りひらくのでしょうか。」</p>	<p>⑪中世は、どのような人たちが力を持ち、どのような特色のある時代だったのかについて、前の時代と比べながらまとめる課題を設定している。</p> <p>⑫章末などで、ポスターや人物カードなど8種の方法でまとめさせる活動がある。</p>